

活動名	草の根の市民活動をつなぐ、創造性が溢れる屋外コミュニティ・スペース
提案者	あるまっぴ CHiyODA (コミュニティパートナー株式会社)
提案者の所在地	千代田区六番町 1-1 恩田ビル 3 階 スマートスタート内
活動場所	東郷元帥記念公園または国民公園皇居外苑半蔵門園地
<p><b>【地域の課題】</b></p> <p>千代田区には、自治会町会やエリアマネジメント団体、まちづくり団体が多数存在するが、地域の課題に関心のある住民等が、草の根的・自発的に組織している子育て・文化・福祉など多数のコミュニティ活動団体も存在する。それらの団体は、多彩な顔をもつ千代田区における、様々な地域のニーズ・課題を解決するための公共の担い手として重要であると言える。</p> <p>それらの草の根的な市民活動団体をもつ共通の課題を解消する要素として、資金的な援助だけでなく、下記のような支援・取り組みを期待している。</p> <p>①気軽に相談できる場の充実 ②活動団体の情報提供・収集 ③協働事業の推進 ④交流の機会やネットワークの形成</p> <p>また、区内の企業においても、地域との関わりをもちたいという意見がある一方で、①どのような団体があるかわからない ②どのような活動が一緒にできるかわからないといった課題をもっている。</p> <p><b>【活動の目的】</b></p> <p>地域における様々な課題やニーズに対しきめ細かく対応していくためには、市民活動団体等が、それぞれの専門性や得意分野を活かし、協働して行っていくことが有効である。</p> <p>また、場所の提供といったハード面だけでなく、団体同士の協働による社会的課題の解決を図るため、市民活動団体と地域や企業、行政を有機的に結び付け、調整し、相互理解を深めていくといったソフト面での機能が重要である。</p>	

### 【概要】

「公共空間を活用した greendesking（グリーンデスキング）可能な地域密着型・市民活動団体のつながる拠点づくり」

- ① ミーティングスペースなど活動場所の提供
- ② 市民活動団体の情報収集・発信の機能
- ③ 行政・企業・その他団体などとの交流の場・機会の提供
- ④ 協働相手にふさわしい他団体や行政・企業などの紹介
- ⑤ Greendesking による創造性・集中力の向上、心身の健康の回復
- ⑥ 地元飲食店によるキッチンカーでのお弁当・ドリンク提供
- ⑦ 地元スポーツインストラクターによるストレッチ教室など

### 【運営のイメージ】

これまで「あるまっぴ」では、番町麴町エリアでのイベント実施経験が多く、地元の町会や飲食店、企業、大学との関係性も構築してきた。上記の課題解決は千代田区内全域において必要なことであるが、まずは実験的に番町麴町エリアで「緑に囲まれた屋外空間でディスカッションや、人と人とのネットワーク形成の場づくり」を行ってみたい。

参考にするのは、モントリオールの屋外コミュニティスペース「airecommune」である。



屋外スペースに共用のテーブルと日よけのパラソルを設置し、プロジェクターや Wi-Fi、コンセントなどを提供することで、ミーティングや「こんなことを地域でやってみたい」といったプレゼンイベントを行うことが可能になる。その際には、地域のことに詳しい有識者や自治体の担当者も参加していただき、つながる機会をつくっていく。また、飲食スペースや体を動かすワークショップ、音楽などを取り入れ、誰でも気軽に足を運ぶことができ、新たなコミュニケーションや場の一体感を感じられる仕掛けづくりを行う。

開催にあたっては、まずは試験的に2か月間、土日の昼間の時間帯に運営を行い、将来的には地域のみんなが「そこに行けば新しい発見がある」場所として育てていきたい。

※提案者については別紙参照

【スケジュール】

9月 コミュニティ・スペースの運営に関する行政、団体、飲食店、大学、企業などとの調整

10月～ 試験的なスペース運営

12月 利用状況や要望に基づいた、運営時間の検討（冬場は寒さで厳しい・・・？）

【区からサポートしてほしい事項】

- ・地域住民・市民活動団体への周知協力
- ・市民活動団体と行政との協働推進にあたっての相談
- ・公園使用許可の調整
- ・東郷公園で行うなら子ども向けワークショップも入れる？国民公園との同時開催なら回遊性あがる？などの相談

【区及び区の関係団体からの補助金の有無】

千代田まちづくりサポートからの助成金 有  
(冊子制作費)